

(一社)日本建設業連合会
関西支部会員

(五十音順)令和6年10月現在(76社)

- アイサワ工業(株)大阪支店
- 青木あすなろ建設(株)大阪本店
- あおみ建設(株)大阪支店
- (株)浅川組
- (株)浅沼組
- (株)新井組
- (株)安藤・間大阪支店
- 岩田地崎建設(株)大阪支店
- 大木建設(株)大阪支店
- (株)大林組大阪本店
- 大林道路(株)大阪支店
- (株)大本組大阪支店
- (株)奥村組西日本支社 関西支店
- 奥村組土木興業(株)
- オリエンタル白石(株)大阪支店
- 鹿島建設(株)関西支店
- 株木建設(株)大阪支店
- 北野建設(株)大阪支店
- (株)クボタ建設大阪支社
- (株)熊谷組関西支店
- 広成建設(株)大阪支店
- (株)鴻池組
- 五洋建設(株)大阪支店
- 佐藤工業(株)大阪支店
- 清水建設(株)関西支店
- ショーボンド建設(株)近畿圏支社
- 西武建設(株)関西支店
- (株)銭高組
- 大木建設(株)大阪本店
- 大成建設(株)関西支店
- 大成ロテック(株)関西支社
- 大鉄工業(株)
- 大日本土木(株)西日本支店
- 大豊建設(株)大阪支店
- 高松建設(株)
- (株)竹中工務店
- (株)竹中土木大阪本店
- 鉄建建設(株)大阪支店
- 東亜建設工業(株)大阪支店
- 東急建設(株)関西支店
- 東洋建設(株)大阪支店
- 戸田建設(株)大阪支店
- 飛鳥建設(株)大阪支店
- 奈良建設(株)大阪支店
- 南海辰村建設(株)
- 西松建設(株)西日本支社
- 日特建設(株)大阪支店
- (株)NIPPO関西支店
- 日本国土開発(株)大阪支店
- (株)ノバック
- (株)長谷工コーポレーション関西
- (株)ハンシン建設
- ピーエス・コンストラクション(株)大阪支店
- (株)久本組
- 深田サルベージ建設(株)大阪支社
- (株)福田組大阪支店
- (株)藤木工務店
- (株)フジタ西日本支社 大阪支店
- (株)不動テトラ大阪支店
- (株)本間組関西支店
- 前田建設工業(株)関西支店
- 松井建設(株)大阪支店
- (株)松村組大阪本店
- 丸磯建設(株)関西支店
- 三井住友建設(株)大阪支店
- みらい建設工業(株)大阪支店
- 村本建設(株)
- 名工建設(株)大阪支店
- (株)森組
- (株)森本組大阪支店
- 矢作建設工業(株)大阪支店
- (株)吉田組
- 寄神建設(株)関西支店
- ライト工業(株)西日本支社
- りんかい日産建設(株)大阪支店
- 若築建設(株)大阪支店

editor's voice
2024.October

編集後記

今年度は年年初に能登半島地震が発生し多くの方が被災されました。現地では今なお復興の道半ばにあり心よりお見舞いを申し上げます。

今回のしびる41号では「開幕近づく万博大特集」をテーマに来年4月に開幕する大阪関西万博について、さまざまな角度から関連情報を紹介しています。

巻頭対談では日本国際博覧会協会副事務総長の東川直正氏をお招きし、万博開催の意義、魅力や会場での楽しみ方についてフリーアナウンサーの毛利聡子氏を交えてお話しいただきました。

「建設DX最先端」では革新的な生産性向上に取り組み2現場取材し、「レポート・最前線」では万博会場に繋がる道路鉄道の整備状況と4つのアクセス方法を紹介します。「偉人たちの歴史街道」では1970年開催の大阪万博の当時のエピソードとお祭り広場を設計した「丹下健三」氏を取り上げました。

例年企画の「未来へのとびら」では万博の建設現場で活躍する2人の若手に仕事のやりがいを語ってもらい、「しびるWalker」では京都府舞鶴市を訪問し、万博に向けインフラ整備の進む舞鶴港や景観・歴史遺産を紹介しています。「LANDMARK」では大阪・関西万博のメインテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を表現した日本館パビリオンの施工について焦点をあてました。

2025年大阪・関西万博の開催までいよいよ半年を切り工事也大詰めを迎え、現場は活気に溢れています。私たち建設業に携わる一人ひとりが情熱を注いで作り上げた会場を、より多くの皆様に体験していただければ大変光栄です。万博の成功の一助となることを心から願っています。

最後に、本誌の発刊に際し快くご協力をいただきました関係各位のご厚意に、心より感謝を申し上げます。

「しびる」について、あなたのご意見、ご感想をお聞かせください。

〒540-0031

大阪市中央区北浜東1-30 大阪建設会館内

(一社)日本建設業連合会 関西支部 **ご意見・ご感想係**

送り先

●今号の表紙

大阪・関西万博 大屋根リング (2024年7月撮影)

世界最大級の木造建築と評される万博会場のシンボル「大屋根リング」。陽光をいっぱいに浴び、幾何学的な美しい木造物をダイナミックに表現することで、万博への期待感を膨らませる。2025年春の開幕が近づく大阪・関西万博。しびる41号は、さまざまな観点から万博を紹介する特集号とする。

※しびるの既刊号については、こちらをご覧ください。→



TOPICS
関西支部NEWS

兵庫県

出石と但馬空港をつなぐ約2kmが開通～豊岡道路 9/23

地域の活性化、災害時の交通確保や救急医療機関へのアクセス向上を目的として整備が進められている北近畿豊岡自動車道(延長約73km)のうち、豊岡市中心部へつながる豊岡道路(豊岡出石IC～但馬空港IC間)2kmが9月23日開通した。但馬地域を流れる円山川は過去50年で大きな氾濫が8回も起きているが、豊岡道路は標高の高い位置を通過するため、水害の影響を受けにくい。豊岡病院や但馬空港へのアクセスに加え、幹線道路として災害時にも機能を発揮するほか、城崎温泉をはじめスキー場や海水浴場など多くの観光資源の活性化も期待される。整備中の豊岡道路(2期)と合わせると、丹波～但馬エリアを貫く北近畿豊岡自動車道が完成し、兵庫県の南北の道路事情が画的に向上する。



整備中の豊岡道路(豊岡出石IC付近)

和歌山県・三重県

自動車専用道路、新宮紀宝道路が今秋開通予定

紀宝町から新宮市間の国道42号は、地域における唯一の幹線道路であり、う回路もなく、日常的に交通渋滞が発生し、東紀州地域間の連携に支障が生じている。今回の新宮紀宝道路の整備により国道42号の交通渋滞の緩和や、複数の熊野川の渡河ルートが確保されることから地域の連携強化に資することになる。今回の新宮紀宝道路2.4kmの開通により、紀南病院から新宮市立医療センターへの搬送時間が短縮される。新宮市立医療センターは、紀南病院から心筋梗塞・脳疾患・心疾患などの重篤患者等を受け入れ、県境を越えた医療連携による地域の救急医療体制が強化される。また、南海トラフ巨大地震の発生による津波が心配される中、最大津波高さより高い位置を通過する新宮紀宝道路は、旧国道42号(現在の三重県道35号)が津波浸水により約4割が通行不能となることが想定されている中、津波浸水時にも機能し、災害時のネットワーク強化されることとなり、迅速な復旧活動の支援が可能となる。

